

第46回道寸祭り開催決定！



中世封建時代にまで遡る三浦一族興亡の系譜は、約四百五十年の栄華と盛衰の三浦の歴史そのものに他なりません。

源氏、北条氏そして足利氏と、鎌倉時代の全盛期、そして室町時代の滅亡に至るまでの一族の活躍と悲哀の物語は、武門の誇りと執念とが交錯した壮大なドラマであります。

とりわけ、鎌倉時代初期には一族の三浦善澄、和田義盛が鎌倉幕府を支える十三人の重臣として選ばれ活躍するなど、この激動の時代を駆け抜けた一族の生き様は今も語り継がれております。

また、三浦一族終焉の地となった油壺、新井城での北条早雲との壮絶な攻防は三年にも及び三浦道寸、荒次郎親子の豪勇振りや、落城の際、道寸と将校のほとんどが油壺湾に朽ち落ちたとされる悲話は、今も波静かな入江の佇まいの中にその面影を忍ばせております。

ここに、祖霊の眠りの安らかならんことを祈ると共に、三浦一族のお家芸であった笠懸を開催することにより、この地に残された文化、遺産を広く世に紹介し、かつ、観光振興の一助とするため、道寸祭りを挙げるものであります。

第46回目の開催となる本年も、多くの方に一族の歴史に触れていただけるよう、盛大に開催いたします。



開催日 令和5年5月28日(日)

開催時間 11時00分～三浦一族供養祭(雨天決行)
11時45分～笠懸(小雨決行)

※時間は予定であり、変動する場合があります。
※供養祭は雨天決行、その他の催しは状況により中止する場合があります。

会場 油壺・荒井浜海岸

主催 道寸祭り実行委員会

御協賛企業様を募集しています！

来場者数3,500名(昨年実績)を誇るイベントで、貴社をPRしませんか？

ポスター・チラシへの広告・社名掲載や、協会HPの道寸祭り記事への社名掲載、URLリンクを予定しております。

詳しくは、観光協会までお問い合わせください！！



3月31日（金）一般社団法人三浦市観光協会 令和4年度臨時総会(通算第32回)が、三浦市観光インフォメーションセンターにおいて開催され、令和5年度事業計画及び収支予算が承認されました。

令和5年度事業計画

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症も「収束」に向けた兆しが見えつつあります。当協会もウィズコロナ～アフターコロナを見据えて、協会員や関係団体と共に地域経済の活性化、観光業の回復に向けた様々な対策に引き続き取り組んでまいり所存です。

協会運営の根幹である会員数も堅調に推移して参りました。今年度は更なる会員獲得に向け積極的な展開を進めます。

観光行事開催については、三浦海岸納涼まつり花火大会の事務局を担うほか、三浦国際市民マラソンや、三浦海岸桜まつりをはじめとした各種地域行事に際し、負担金拠出や補助を行います。

観光情報提供については、昨年度からSNSを活用した情報発信に努め、フォロワー数も順調に推移してまいりました。今年度も引き続き即時性のある情報発信を行いつつ、協会員の情報をフォローアップできる体制を整えます。またデジタルだけではなく、アナログでの誘客も推進すべく、昨年度「みうら観光マップ」のリニューアルを行いました。三浦市観光インフォメーションセンターや三崎口駅前観光案内所に配架、併せて市内観光施設等でも配架いただき、お客様の利便性向上による消費促進を図ります。

観光資源保護・開発については、国や県の補助事業等を積極的に活用し、観光資源の再生、高付加価値化、持続力の担保を図ってまいります。

レンタサイクルの管理運営にあっては、今年度から新たにソレイユの丘がポートに加わることになりました。面的な地域連携を進め、回遊性を高めることで新たなニーズの発掘に努めます。

水産物農産物の商品開発・販売・斡旋に関しては、昨年度から三浦市より受託した「三浦市ふるさと納税業務委託」において、一昨年度を上回る寄付を獲得することができました。今年度も引き続き観光協会の優位性を生かした商品開発や、観光客への直接アプローチを推し進め、地域経済の発展への寄与を図ります。

また、昨年度より販売を開始した三浦野菜の残渣を活用した和紙制作については、好評の武井印に加えて新たな商品展開を図り、物品販売に取り組んでまいります。

旅行業については、地域限定旅行業登録を機に、いくつかの着地型旅行商品の販売を開始しました。今年度も引き続き地域の豊かな観光コンテンツを活用し、新たな商品造成を進めます。

前年度から5年間の指定管理を受託した神奈川県立城ヶ島公園については、新たに加わった京浜急行電鉄（株）と共にユースホステル跡地の活用したキャンプ場の試行など、新規自主事業を模索します。

三浦市営油壺駐車場は、引き続き今年度から5年間の指定管理を受託しました。地元と連携し、観光事業者目線で、サービス及び利用率の向上を図ることで、地域経済の振興に寄与してまいります。

なお、三浦市観光振興ビジョンに基づき、案内所の移転・拡充・強化などについて、引き続き調査、協議を続けます。

以上

令和5年度 収支予算

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:千円)

	一般会計						特別会計		合計
	三浦市 観光協会 事業	三崎口駅前 観光案内所 事業	みうら レンタサイクル 事業	ふるさと 納税 支援業務	旅行業	小計	城ヶ島 公園 指定管理	油壺 駐車場 指定管理	
【1】事業活動収入	68,527	3,709	4,230	255,675	3,000	335,141	64,411	7,684	407,236
(1)一般会計収入									
1. 三浦市観光協会事業	32,527					32,527			32,527
2. 三崎口駅前観光案内事業		3,709				3,709			3,709
3. みうらレンタサイクル事業			4,230			4,230			4,230
4. 三浦市経済対策補助事業						0			0
5. 観光団体育成事業	9,000					9,000			9,000
6. 中央省庁受託事業	27,000					27,000			27,000
7. 三浦市ふるさと納税支援業務				255,675		255,675			255,675
8. 旅行業					3,000	3,000			3,000
(2)特別会計収入									0
①城ヶ島公園収入							64,411		64,411
②油壺駐車場収入								7,684	7,684
【2】事業活動支出	68,527	3,709	4,230	255,675	3,000	335,141	64,411	7,684	407,236
(1)事業費									
1. 観光宣伝誘客事業	1,546					1,546			1,546
2. 観光行事開催事業	2,035					2,035			2,035
3. 観光調査研究事業	670					670			670
4. 観光情報提供・収集事業	466					466			466
5. 観光地美化事業	34					34			34
6. 観光資源開発事業	25,510					25,510			25,510
7. 観光施設受託事業	2,970					2,970			2,970
三崎口駅前観光案内所事業		4,514				4,514			4,514
8. 一般観光事業負担金	417					417			417
9. みうらレンタサイクル事業費			3,452			3,452			3,452
10. 水産物・農産物販売・斡旋	618			255,667		256,285			256,285
11. 旅行業					2,570	2,570			2,570
12. その他事業						0			0
①三浦市経済対策補助事業	0					0			0
②観光団体育成事業費	9,090					9,090			9,090
(2)管理費	11,281					11,281			11,281
(3)予備費	1,000					1,000			1,000
(4)観光事業振興基金積立	12,891	-805	778	8	430	13,302			13,302
(5)特別会計支出									
①城ヶ島公園支出						0	64,411		64,411
②油壺駐車場支出						0		7,684	7,684
【3】収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「みうらおもてなしクーポン」の利用期間は終了しました



「みうらおもてなしクーポン」の利用期間は令和5年2月28日(火)をもちまして終了しました。
多数のご利用をいただき、誠にありがとうございました。

主な実績

全購入者数	11,987人
ユーザー登録数	13,367人
三浦市内購入者数	5,663人(47.2%)
最終利用金額	401,894,299円 発行額 403,000,000円
利用率	99.72%

※市外は横須賀市・横浜市を中心に首都圏全域

業種別利用状況

	店舗数	利用金額
飲食店	86	49,129,058円
スーパー	7	195,804,109円
食品販売店	55	21,657,308円
物販・サービス	60	106,554,396円
宿泊施設	12	28,749,428円
合計	220	401,894,299円

【総括】

プレミアム率30%、6口まで(2021年度はプレミアム率50%、2口まで)となり、大型スーパー、ドラッグストア等の利用可としたため、販売開始当初は市内在住者の購入が56%であったが、完売時には47%に減少、その影響により市内事業者での利用が41%となった。経済対策としては1億6千万程度が市内事業者で利用された。

取扱店舗は大型店が上位を占めるが、市内事業者でも積極的にクーポンを勧めている事業者は、売り上げにつながっている。

みうらおもてなしバスツアー補助事業



みうらおもてなしバスツアー補助事業は令和5年2月28日(火)をもちまして終了しました。

項目	日帰り	宿泊
申請・交付決定台数	345台	5台
補助金交付台数	269台	5台
補助額計	13,450,000円	500,000円
集客人数	8,404名	149名



【総括】

ツアーの種別では、日帰り269台、宿泊5台と、圧倒的に日帰りが多かった。
出発地別では、東京都102台(38.1%) 群馬県37台(13.3%)、埼玉県36台(12.9%)。
都内からの日帰り需要取り込みがポイント。一昨年よりも取扱事業者数が増え、制度の認知が高まったことが伺える。
都内事業者(特に地域密着営業の事業者)、及び北関東への営業が必要。

事務局より 新専務の着任について



新型コロナウイルス感染も収束傾向にあり、今後の成長が期待される中での専務理事就任となりました。
出身は三浦市晴海町。京急電鉄に入社後、鉄道事業の様々な職を経験した後、2013年に地元である三浦海岸駅長を襲名し、4年間務めました。三浦市に対する思い・情熱は現在も色あせてはおりません。モットーは「元気」です。「心身ともに健康で、明るく活気あふれる人間関係の構築。笑顔で誠実・親切に接することで責務が達成できる」との思いがあります。今後の観光業の成長に貢献してまいりたいと思っておりますので、関係者の皆さまのお力添えを賜りたく、よろしく願い申し上げます。

太田 芳孝